※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　クラフト科

教科	工業	科目	課題研究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	無し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

金属（銅）を用いて与えられた条件から制作に必要な工程や技術を自ら考えて作品を作ります。
条件１：「切る」「曲げる」「ロウ付けによる接合」
条件２：灯りを組み合わせる。
条件３：３ＤＣＡＤで作品の立体図を描く。
条件４：計画・制作を振り返り考察する。

２　学習の到達目標

「創造活動を通して、生活を心豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現能力を伸ばし、工芸文化についての理解を深める。
・文化、地域、時代などの違いから、暮らしと工芸の関わりについて考える。
・材料についての知識を深め、制作に生かせるようにする。
・課題製作に粘り強く、集中して取り組む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	学習内容に関心をもつことのみならず、よりよく学ぼうとする意欲をもって学習に取り組む態度について評価する。	知識及び技術を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身につけているかどうかを評価する。	学習の過程を通した技術の習得状況について評価する。	他の学習の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技術を習得したりしているかを評価する。
評価方法	授業観察 実習作品 自己評価 相互評価	授業観察 実習作品	授業観察 実習作品 自己評価 相互評価	授業観察 実習作品 自己評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	条件付き課題作品制作	与えられた条件からデザインを考える。また、設置場所に合った装飾性をトータルに考える。 クラフトペーパーなど江模型を制作し、技術的に製作可能なものか、必要とする材料や工具は何かなど様々なことを考え完成に向け創意工夫する。 技術的に制作可能か実際に検証する。	○	○	○	○	a:表現・制作への関心。 b:条件に適した作品を考える。 c:技術の習得レベルの確認 ｄ:完成するまでの工程を理解する。	授業観察 提出物 実習作品
2		材料や表現方法を検討し、必要な準備や制作スケジュールを立てる。 ・制作する。 材料の特性を考えながら手順良く完成を目指す。					a:表現・制作への関心。 b:　表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。 独創的なアイデアのデザインであるか。 c:　様々な表現の技術 d:　計画的に制作を進めるための知識と理解。	
3		手順良く完成を目指す。 制作過程等考察					a:表現・制作への関心。 b:　表現のアイデア、期限内に完成させるスケジュールを考える。 c:　様々な表現の技術 d:　計画的に制作を進めるための知識と理解。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。